

令和7年度 第2回鎌ヶ谷市消防委員会会議録

- 1 開催日時
令和8年2月5日（木曜日）午後2時00分から午後3時00分まで
- 2 開催場所
消防本部3階会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員 廣部信隆委員（委員長）
川上英明委員（副委員長）
長瀬繁則委員
芳賀美和委員
松尾せつ子委員
澁谷誠幸委員
 - (2) 事務局 消防団長 飯田喜治
消防長 矢ノ目健二
参事（事）次長 伊藤正二
参事（事）予防課長 佐藤俊一
副参事（事）消防総務課長 松下晃通
警防課長 山口敏郎
消防総務課 課長補佐 田村俊祐
消防総務課 消防主事 渡邊大和
消防総務課 消防主事補 加藤瑠人
- 4 議題
 - 議案1 令和7年度事務事業進捗状況について
 - 議案2 令和8年度予算（案）の概要及び事務事業について
- 5 傍聴者
なし
- 6 会議の公開、非公開について
公開

7 発言の要旨

- 消防総務課長 令和7年度第2回鎌ヶ谷市消防委員会会議開会を宣言した。
鎌ヶ谷市消防委員会条例第5条第4項による会議の成立及び傍聴者の申し出がなかったことを報告した。
- 廣部委員長 挨拶
- 消防総務課長 会議の開催にあたり、消防団長及び消防長へ挨拶を求めた。
- 飯田団長 挨拶
- 矢ノ目消防長 挨拶
- 消防総務課長 鎌ヶ谷市消防委員会条例第5条第3項の定めにより委員長が議長を務めることを伝えた。
会議録署名人については、申合せにより長瀬委員、澁谷委員の2名が任期中は継続する旨を説明した。
議長へ進行をお願いした。
- 廣部議長 議案1 令和7年度事務事業進捗状況について説明を求めた。
- 事務局 議案1 令和7年度事務事業進捗状況について、職員研修、火災予防、救急救命、消防団、施設等について説明した。
- 廣部議長 議案2 令和8年度予算（案）の概要及び事務事業について説明を求めた。
- 事務局 議案2 令和8年度予算（案）の概要及び事務事業について、令和8年度予算（案）は議会議決前の要求額であり、決定されていないことを申し添えたうえ、消防予算の内訳、常備消防費として一般人件費、消防事務に要する経費、消防庁舎の管理運営に要する経費、職員研修に要する経費、予防業務に要する経費、警防業務に要する経費、大規模災害時応援に要する経費、消火栓改修事業、非常備消防費として消防団運営に要する経費、消防団装備品整備事業、消防施設費として消防車両更新事業、消防団車両更新事業、消防救急無線再整備事業の内容を説明した。
また、配布資料1 1ページ消防車両更新事業について、資料には消防ポンプ自動車（くぬぎ山ポンプ1）と記載されているが、正しくは消防ポンプ自動車（中央化学1）であることを説明し、訂正した。
- 予防課長 最近3か年の火災状況について説明した。
- 警防課長 最近3か年の救急出動件数、令和7年傷病程度別搬送人数を説明した。
- 廣部議長 各委員に質問を求めた。
- 川上委員 救急隊員の労務環境について、近年、救急出動件数が増加し、救急隊員が昼夜を問わず出動に追われ休憩や食事が十分にとれないという声を耳にするが、本市はどのような対策をとっているか伺う。
- 警防課長 本市の対応については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で救急出動件数が急増し、連続出動や活動の長時間化により、救急隊員が十分な食事や休憩を取得することが難しい状況になったため、令和4年に「救急要請増加時における休憩時間等の取得方針」を定め、まずは搬送先病院内の売店等でのみ、飲食物を購入し休憩を取得することを認めた。しかしながら、その後も救急出動件数は増加傾向にあり、救急隊員の食事や休憩の取得が一層難しくなっているため、令和7年6月1日から、病院外のコンビニエンスストアの利用も可能とするよう方針を見直した。これにより搬送先病院から消防署へ戻る際に救急隊がコンビニエンスストアへ立ち寄れるようになったが、救急活

動時との区別をするため救急車に休憩中であることを示すパネルを掲示し、市民の方々へ誤解を与えないよう配慮するとともに、救急出動要請があれば直ちに出動できる体制を整えている。

澁谷委員 資料4 ページ鎌ヶ谷消防署改修事業の具体的な進捗状況について伺う。

消防総務課長 鎌ヶ谷消防署改修事業の進捗状況は、令和6年10月から着工しており、個室仮眠室、食堂及びシャワー室が新設された新棟が令和7年8月に完成している。

また、9月から既存棟の内装改修工事を開始し、12月に通信室及び救急消毒室が完成している。

現在は事務室、多目的室及び資機材備蓄倉庫の改修工事を行っており工事全体の95パーセントが完了している。

すべての工事完了は、令和8年2月末を予定している。

長瀬委員 資料12 ページの最近3か年の火災状況の中で、昨年と比べて出火件数が増えているが、何か理由があるか伺う。

予防課長 出火件数が増えた理由については、火災原因として、昨年はなかった、たばこ3件、たき火2件、コンロ2件と火の不始末等により発生した火災が増えたことが理由である。

また、その他の原因でも、少しの注意で防げる火災が多くあり、引き続き消防行事及びSNS等を活用し火災予防の啓発を行っていく。

松尾委員 近年、全国各地で大規模な災害が発生し、自衛隊や消防が活動している映像を目にするが、どのように出場するのか。

また、何か訓練などを行っているのか伺う。

警防課長 はじめに、緊急消防援助隊の出場要請について、千葉県隊が第一次で出場する地域は、東京都、茨城県、神奈川県、埼玉県の1都3県であり、出場準備地域として、北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、長野県、栃木県、群馬県、新潟県、山梨県、静岡県、1道12県で最大震度6弱以上の地震が発生した場合に出場の準備を行い、被災地に属する都道府県知事から消防庁長官に対して要請があった場合に出場する。本市は、消防車2台、救急車2台及び資機材搬送車1台を緊急消防援助隊の出場車両として登録している。

次に訓練について、令和7年11月29日の土曜日に北海道日本ハムファイターズタウン鎌ヶ谷駐車場において、大規模な災害が発生し、消火用水の確保が困難となった場合を想定した訓練を消防職団員により実施した。本訓練は、「災害時等における消防用水の供給支援に関する協定」に基づき、千葉北部生コンクリート協同組合から派遣された小林建材株式会社の協力を得て行った。

ファイターズタウン鎌ヶ谷に設置されている防火水槽から消防ポンプ自動車を使用してコンクリートミキサー車のドラムに水を送り、ミキサー車で指定場所まで運搬。その後、コンクリートミキサー車のドラムに積載した水を指定場所に設置されている簡易防火水槽へ補水し、その水を使用して放水を行う実践的な訓練を行った。

その他行っている訓練は、毎年1月下旬頃に、千葉縣市原市にある千葉県消防学校及び市原市総合防災センターを訓練会場として、2日間に渡って実施される千葉県消防広域応援隊合同訓練にも参加している。

なお、今年度は、1月29日から1月30日にかけて実施した。

芳賀委員 資料の1ページ従業員等消防研修はどちらの従業員を対象に行っているのか伺う。

予防課長 令和7年6月20日に実施した従業員研修では、鎌ヶ谷市防火安全協会の会員事業所従業員を対象に実施した。

参考までに鎌ヶ谷市防火安全協会は、危険物を有する事業所を中心に現在67事業所が火災等に起因する災害を予防するため、各種研修会への参加及び、機関紙発行等の事業を実施している。

また、全国火災予防運動時には広報を実施し、火災予防ポスター展や消防広場等消防のイベントにも協賛いただいている。

廣部議長 その他連絡事項を求めた。

事務局 令和8年度第1回鎌ヶ谷市消防委員会開催の時期について、令和8年7月上旬を予定していることを説明した。

廣部議長 議事を終了し、令和7年度第2回鎌ヶ谷市消防委員会会議閉会を宣言した。

8 会議録署名人の署名

以上会議経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和8年2月19日

氏名 澁谷 誠幸

氏名 長瀬 繁則